

神奈川県微生物検査情報

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/eiseisomu/eiken/infectionC.htm>

神奈川県衛生研究所

第109号

(2002年4月)

平成14年6月10日発行

細菌関連情報

感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎患者より *E. coli* O1 (1株)、O18 (1株) が分離された。なお、*E. coli* (2株) は *stx* 遺伝子を保持していなかった。

A群レンサ球菌咽頭炎患者よりA群溶レン菌1株が分離され、血清型はT1型(1株)であった。

淋菌感染症患者より分離された *N. gonorrhoeae* は2株あり、それらの株はペニシリン非産生であった。

健康者の咽頭培養から髄膜炎菌1株が、分離された。

(細菌病理部)

ウイルス関連情報

2事例の嘔吐下痢症の集団発生があり、便44検体と吐物2検体について、原因ウイルスの調査を行ったところ、便24検体より遺伝子検出法でノーウォークウイルスが検出された。そのうち4検体からは、電子顕微鏡観察において小型球形ウイルスが検出された。

検査定点より依頼のあった手足口病患者の咽頭拭い液1検体について検査を実施したところ、エンテロウイルス71型が分離された。手足口病は主にエンテロウイルス71型(EV71)、コクサッキーウイルスA16型(CA16)、CA10などのエンテロウイルスにより起こり、基本的には予後は良い疾患である。しかし、稀ではあるが急性脳炎を生ずることがあり、中でもEV71は中枢神経系合併症の発生率が他のウイルスよりも高いことが知られている。昨年度は流行規模が小さく、当衛研で手足口病患者から分離したウイルスはすべてCA16であった。今年度は16週(4月15日~21日)より患者報告数が増加し始め、患者検体からEV71が検出されたことから、今後の動向に注意が必要である。

秦野保健所管内のK施設および鎌倉保健所管内のY施設において、発熱を主症状とする原因不明の集団発生があった。K施設については25名から咽頭拭い液、糞便、血清を採取し検査を実施したところ、1名の咽頭拭い液から単純ヘルペスウイルス1型(HSV-1)が検出された。他の24名からは検出されず、疫学的調査結果ともあわせてHSV-1が集団発生の原因とは考えられなかった。

Y施設については9名から咽頭拭い液および血清を採取し検査を実施したが、ウイルスは検出されなかった。

ポリオワクチン接種後に歩行障害を呈した患者の髄液、咽頭拭い液および糞便検体について検査を実施したところ、咽頭拭い液および糞便検体からポリオウイルス3型が分離された。分離されたウイルスは、国立感染症研究所においてワクチン由来のウイルスであることが確認された。

(ウイルス部)

表1 菌種・菌型別病原菌検出状況（ヒト由来）

（平成14年4月）

菌種・群・型	ヒト由来検出数											
	平成13年計		1月		2月		3月		4月		平成14年累計	
	総数	内海外 渡航者	総数	内海外 渡航者	総数	内海外 渡航者	総数	内海外 渡航者	総数	内海外 渡航者	総数	内海外 渡航者
EHEC/VTEC	33											
ETEC	14											
EPEC	32		2		3		2		2		9	
<i>Salmonella</i> 04群	1											
<i>Salmonella</i> 07群	5											
<i>Salmonella</i> 08群	8		1								1	
<i>Salmonella</i> 09群	68											
<i>Salmonella</i> 09,46群					1						1	
<i>Salmonella</i> 03,10群	1											
<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	7											
<i>Aeromonas hydrophila</i>	1											
<i>Aeromonas sobria</i>	1											
<i>Campylobacter jejuni</i>	35		1		1						2	
<i>Staphylococcus aureus</i>	2		1		4						5	
<i>Clostridium perfringens</i>	6											
<i>Shigella sonnei</i>	1	1										
<i>Streptococcus pyogenes</i> A群	14		4		1		3		1		9	
<i>Legionella pneumophila</i>	1											
<i>Neisseria meningitidis</i>	2								1		1	
<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	46		9		3		4		2		18	
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	1											
その他の細菌	9											
合計	288	1	18		13		9		6		46	

表2 保健所・衛生研究所別病原菌検出状況及（ヒト由来）

（平成14年4月）

菌種・群・型	ヒト由来検出数												計	
	平塚	鎌倉	藤沢	小田原	茅ヶ崎	三崎	秦野	厚木	大和	足柄上	津久井	小計		衛生研究所
EPEC													2	2
<i>Salmonella Paratyphi</i> A													1	1
<i>Neisseria meningitidis</i>													1	1
<i>Neisseria gonorrhoeae</i>													2	2
合計													6	6

表3 保健所・衛生研究所別病原菌検出状況（食品由来）

（平成14年4月）

菌種・群・型	食品由来検出数													計
	平塚	鎌倉	藤沢	小田原	茅ヶ崎	三崎	秦野	厚木	大和	足柄上	津久井	小計	衛生研究所	
合計														0

表4 保健所・衛生研究所別病原菌検出状況（環境由来）

（平成14年4月）

菌種・群・型	環境由来検出数													計
	平塚	鎌倉	藤沢	小田原	茅ヶ崎	三崎	秦野	厚木	大和	足柄上	津久井	小計	衛生研究所	
<i>Salmonella</i> 09,46群										1		1		1
合計										1		1		1

表5 保健所・衛生研究所別検査数

（平成14年4月）

検査材料 検査所	ヒト		食品	環境	計
	総数	内海外 渡航者			
平塚	764		3		767
鎌倉	318		12	14	344
藤沢	560		2	11	573
小田原	2,254		35	23	2,312
茅ヶ崎	233		1		234
三崎	279		20	10	309
秦野	427			3	430
厚木	501				501
大和	130		8	2	140
足柄上	271		15	6	292
津久井	275		4		279
小計	6,012		100	69	6,181
衛生研究所	27		66	10	103
計	6,039		166	79	6,284

表6 ウイルス検出状況（月別）

（平成14年5月31日現在検出分）

月 検出ウイルス	平成 13 年計	1 月	2 月	3 月	4 月	平成 14 年計
インフルエンザ AH1	30	14	28	3		45
インフルエンザ AH3	5	28	47	7		82
インフルエンザ B	8		3	4		7
パラインフルエンザ 1	1					
ポリオ 1	1					
ポリオ 2	1					
ポリオ 3					1	1
コクサッキー A2	8					
コクサッキー A4	7					
コクサッキー A5	7					
コクサッキー A16	14	4				4
コクサッキー B5	9					
エコー 22	1					
エンテロ 71					1	1
ムンプス	5		1			1
アデノ 1	1					
アデノ 2	1					
アデノ 3	12	1	1			2
アデノ 4	1					
アデノ 6			1			1
アデノ 19	1					
単純ヘルペス 1	4	1			1	2
小型球形	1		3		4	7
ノーウォーク	29	3	28		24	55
デング	2					
未同定	1	1	1			2
合計	150	52	113	14	31	210

表7 ウイルス検出状況（疾患別）

（平成14年5月31日現在検出分）

疾患名 検出ウイルス	麻疹 様 疾 患	流行 性 耳 下 腺 炎	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	ヘル パン ギ ナ	イン フル エン ザ 様	咽 頭 結 膜 熱	流 行 性 角 結 膜 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	急 性 脳 炎	食 中 毒	そ の 他	合 計
ポリオ 3													1	1
エンテロ 71				1										1
単純ヘルペス 1													1	1
小型球形			4											4
ノーウォーク			24											24
未同定														
合計			28	1									2	31